

# 令和6年第2回（6月）泉崎村議会定例会報告書

1	会期	令和6年6月6日（木）～6月14日（金）	9日間
2	議案等	報告	3件
		議案	6件
		発議	2件
3	一般質問	令和6年6月11日（火）	7名
4	請願・陳情	請願書	2件
		陳情書	1件

◎ 議案等の審議及び概要は次のとおりです。

---

**【報告第3号】 専決処分の承認を求めることについて（泉崎村税条例の一部を改正する条例）**

（原案承認）

◇令和6年度国の税制改革により地方税法等の一部を改正する法律（令和6年法律第4号）が令和6年3月31日に公布され、令和6年4月1日から施行されることに伴い、令和6年度以降の村税賦課に対応するため、泉崎村税条例の一部改正を早急に行い、地方税法等の一部改正に準じて泉崎村税条例の所要の改正を地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、これを報告し議会の承認を求めるものです。

---

**【報告第4号】 令和5年度泉崎村繰越明許費繰越計算書**

（報告）

◇地方自治法施行令第146条第2項の規定により、令和5年度において繰越明許を設定した一般会計11事業について繰越計算書を報告するものです。

---

**【報告第5号】 白河地方土地開発公社経営状況報告について**

（報告）

◇地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、泉崎村が55万円出資している白河地方土地開発公社の事業及び決算について、報告するものです。

---

**【議案第30号】 泉崎村自転車等放置防止条例**

（原案可決）

◇公共の場所における自転車等の放置を防止し、良好な生活環境の維持を図るため、本条例を制定するものです。

---

**【議案第31号】 泉崎村国民健康保険税条例の一部を改正する条例**

（原案可決）

◇政令の一部改正に準じた賦課限度額及び軽減判定所得の引き上げを行う改正により、泉崎村国民健康保険税条例の一部を改正するものです。

---

**【議案第32号】 泉崎村税条例の一部を改正する条例**

（原案可決）

◇地方税法の改正に伴い、令和6年能登半島地震災害の被災者の負担の軽減を図るため、個人住民税の特例措置を講ずる規定を整備するため必要があることから、泉崎村税条例の一部を改正するものです。

---

---

【議案第33号】 令和6年度泉崎村一般会計補正予算（第1号）

（原案可決） ◇歳入歳出それぞれ74,951千円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ4,091,951千円とするものです。

---

【議案第34号】 令和6年度泉崎村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

（原案可決） ◇歳入歳出それぞれ3,551千円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ739,392千円とするものです。

---

【議案第35号】 令和6年度泉崎村介護保険特別会計補正予算（第1号）

（原案可決） ◇歳入歳出それぞれ836千円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ702,724千円とするものです。

---

◎ 発 議 ※採択されました請願及び陳情は、議員発議により議会に提案され、可決後、意見書として国、県等の関係機関へ積極的に働きかけを行うものです。

【発議第2号】 「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出について

（原案可決） 提出者：経済文教常任委員長

---

【発議第3号】 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について

（原案可決） 提出者：総務厚生常任委員会

---

◎ 請 願 書

受理No. 1 食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める請願

（不採択） 提出者：福島県県南農民組合  
組合長 大竹 利男

---

◎ 請 願 書

受理No. 2 「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出について

（採択） 提出者：福島県教職員組合  
中央執行委員長 瀬戸 禎子

---

◎ 陳 情 書

受理No. 2 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について

（採択） 提出者：日本労働組合総連合会福島県連合会  
白河地区連合会 議長 藤田隆司

---

（以上）

# 令和6年 第2回（6月） 泉崎村議会定例会通告質問一覧表

番号	質問者	質問事項	質 問 要 旨
1	安藤 茜議員	1、物価高騰について	地域振興券の支援ですが、全村民に配布は完了しているのか。また、今後も物価高騰が続く場合、今回のように地域振興券の支援または給付金の支給などの対策は考えているのか伺います。
		2、中学校グラウンド脇の通路について	3月に質問いたしました中学校グラウンド脇の通路及び外灯についてですが、その後の進捗状況を伺います。
2	加藤恵子議員	1、八雲自治組合からの歩道設置の依頼（陳情）について	進捗状況について伺う。
		2、不妊治療支援事業助成金について	①本村の支援の中に、不育症治療費も含まれているのか伺う。 ②この支援事業を本村でも実施している事を、村民にどのように周知させているのかを伺う。 ③村内で受診できる医療機関がなく遠方への通院が必要となる方に対する交通費の補助について、村ではどのように考えているのか伺う。
		3、ゴミ集積所の衛生環境問題と改善について	①集落の人口減少・自治組合非加入者増加により、ゴミ集積所の管理が難しくなっている地区・自治組合があることを村では把握しているのかを伺う。 ②そのような地区のゴミ置場の老朽化に対して改築など、村で管理してもらえるか見解を伺う。 ③ゴミ集積所の使用について、自治組合と自治組合非加入者間のトラブルに対し村では相談に乗ったり対処して頂けるのか伺う。 ④ゴミの出し方のマナーの悪さが原因で犬・猫・カラス等に荒らされる、ゴミを不法投棄される、ダンボール等の資源ゴミを持ち去る等の問題がありますが、ゴミの出し方の指導や注意喚起等の看板の作成設置をお願い出来るのか伺う。

# 令和6年 第2回（6月） 泉崎村議会定例会通告質問一覧表

番号	質問者	質問事項	質問要旨
3	白石正雄議員	1、政治情勢について	<p>本年3月議会以降、6月議会までの間に、政治情勢の変化として、首相の訪米や国会議員の補欠選挙が行われました。同時に、都道府県レベルでの地方選も行われてきましたが、どれを見ても政府与党の衰退が現れるものとなっております。</p> <p>そうした中で、国会審議では我々に大きく影響する問題として、今国会に提出されている農業基本法の改定と地方自治法の改定が審議されている。この法改定について見解を伺う。</p>
		2、駅及び東口開発について	<p>①議会に示された構想では、駅に設置予定のエレベーターは2つとされているが、これではバリアフリーにならない。東西自由通路も含めたバリアフリー化のためには、少なくとも安達駅程度のものにする必要があるし、外観についても、設計会社によって大きく変わることになる。エレベーターは3箇所必要になると思うが見解を伺う。</p> <p>②泉崎診療所の建設予定地も示されたが、将来を展望した場合に、駅直結の施設を作ることが何よりも大事であると思うが見解を伺う。</p>
		3、学校給食について	<p>泉崎村の人口動態や、子供の食育、あるいは地域との結びつきを考えた場合に、自校方式の学校給食施設を建設すべきであると思うが見解を伺う。</p>
		4、農業支援について	<p>村内の農業を守り継続していくための、構想と支援が必要になっていると思うが、公社の設立や就農支援、農機具の購入助成や補修支援補助等について伺う。</p>
		5、行政サービス紹介について	<p>実施されている行政サービスについて一覧表が配布されたが、さらにデザイン化して見やすくパンフレット化したものにする必要があると思うが見解を伺う。</p>
		6、田舎暮らしについて	<p>消滅市町村などの報道も行われ、人口減少に対する関心が高まっているが、一極集中に抗うためには、庶民の暮らしがアピールできることである。アピールできる村政について伺う。</p>

# 令和6年 第2回（6月） 泉崎村議会定例会通告質問一覧表

番号	質問者	質問事項	質 問 要 旨
4	長久保孝行議員	1、中学生の修学旅行を海外交流事業とする件について	<p>①福島空港を利用し台湾への海外交流を修学旅行と抱き合わせる件の提案について見解を伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル社会となっている今、教育の一環で未来への投資は必要であると思う。中学生が海外の食や文化を体験し学ぶ事は必ず将来の糧になる。</li> </ul> <p>②旅費の一部を村が補助する件の提案について見解を伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現行の修学旅行費と同等額は自己負担とし不足分を村が補助。</li> <li>・県は福島空港 台湾行きのチャーター便から定期便化を目指しており、乗客増の取組みとして、ビジネス目的で利用する県内企業などに渡航費用と同額を補助する方針を固めたことから、今のタイミングで台湾修学旅行の渡航費補助を県に交渉してはどうかと考えます。</li> </ul>
		2、さつき公園駐車場の出入口の新設について	<p>さつき公園駐車場は、平日朝夕の時間帯は中学生の送迎で混雑している状況です。送迎を終えた保護者や家族が出口で渋滞します。送迎と通勤時間帯が重なり、無理に出ていく車もあり危険な状況がしばしば見受けられ、事故に繋がる危険性が高いと思われる為、北側に出入口を新設（カントリーヴィレッジ側）することで、混雑時の事故を抑止出来ると考えられますが、見解を伺います。</p>
5	鈴木義男議員	1、水道事業について	<p>①水道本管で石綿セメント管は老朽化水道管のうち、最も耐震性が低いとされ、漏水防止のためにも交換が急がれる水道管です。本村で残存する石綿セメント管は村内水道の管路延長の何パーセントか、又、延長にするとどのくらいか又、主にどの地区での管理設状況かについて伺います。</p> <p>②データでは本村での水道管耐震化率は30%未満で近隣自治体の中でも低く見受けられます。石綿管は破損率が高く、耐震化や漏水防止のために解消が急がれると思います。今年策定した第6次泉崎村総合振興計画でも未布設替石綿セメント管の更新工事を進め、漏水防止対策で石綿セメント管の計画的な更新と明記してあります。又、令和3年3月に策定した泉崎村国土強靱化地域計画で水道管路の耐震化や老朽管路の更新を行いながら、経営戦力により将来の更新需要を把握し、計画的に更新を行い施設の健全化を図ると明記してあります。今後の未布設替石綿セメント管の更新工事の計画について伺います。</p>

# 令和6年 第2回（6月） 泉崎村議会定例会通告質問一覧表

番号	質問者	質問事項	質 問 要 旨
5	鈴木義男議員	1、水道事業について	<p>③災害時における水源確保で遊休井戸の場所及び数などについて教えて下さい。又、今後給食センター建設時に新しい井戸を整備するなどの計画について伺います。</p> <p>④民有地に埋設されている水道管も多々有り、水道管理設図面は水道管の管種が不明と記載された図面も有るようです。これでは調査に来た業者も困ってしまいます。そういったなか、村水道台帳・図面の補正及び整備は大事だと思います。今後これらの水道台帳・図面等の補正整備について伺います。</p>
		2、地域おこし協力隊制度の設置について	<p>「地域おこし協力隊」は、都市地域から人口減少や高齢化等の進む地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。近隣の自治体ではこの制度を活用しているところが多いようです。本村での今後、この制度の取り組みについて伺います。</p>
6	鈴木保仁議員	1、こども子育て支援について。	<p>①こども子育て支援・制度で、新たに村独自で協議している支援・制度があるのか。</p> <p>②こども家庭センター設置について今現在、協議しているのか伺います。</p>
		2、高齢者・障がい者支援について。	<p>①高齢者による免許返納者に対し、どの様な支援・制度があるか伺います。</p> <p>②デマンド交通のコース・時間の変更は、どの時点で行われているのか伺います。</p> <p>③高齢者安全運転支援促進事業における対象年齢の変更が可能か伺います。</p> <p>④高齢者にやさしいむらづくりをどの様に進めていくのか伺います。</p> <p>⑤障害者総合支援法の理念のもと、村独自の応援制度として今後、新たに支援制度の見直し、追加等は協議しているのか伺います。</p>

# 令和6年 第2回（6月） 泉崎村議会定例会通告質問一覧表

番号	質問者	質問事項	質 問 要 旨
7	円谷亮一議員	1、事業用太陽光発電設備について	<p>①村内にある事業用太陽光発電設備の件数を伺う。</p> <p>②総務省の調査によると自治体の4割超が太陽光設備導入に起因するトラブルを抱えていたということが分かっている。本村においてのトラブルについて伺う。</p> <p>③後を絶たないトラブルに対処するため、独自ルールを制定した自治体も少なくない。本村の今後の対応について伺う。</p>
		2、地域おこし協力隊について	<p>①「地域おこし協力隊」制度が始まって15年になるが、全国の協力隊員数は年々増加し、各地の隊員は地域活性化に取り組んでいる。新たな人の流れを創出し、地域振興を推進していくため、本村においても積極的にこの制度を活用していくべきと考えるが見解を伺う。</p>
		3、ふれあい号・買い物号・お医者さん号について	<p>①ふれあい号の運行状況及び路線毎の利用者数、また買い物号・お医者さん号の運行状況及び利用者数について伺う。</p> <p>②現在巡回型で走っているふれあい号をデマンド型にし、買い物号やお医者さん号と一体化させることで効率的に運行でき、利用者に対するサービスをよりきめ細やかにすることが可能と考えるが見解を伺う。</p>